



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 2 月 21 日

上場会社名 株式会社淀川製鋼所

（コード番号：5451 東証第 1 部、大証第 1 部）

（URL <http://www.yodoko.co.jp/>）

代表者 役職名 取締役社長 氏名 鈴木 鐸志

問合せ先責任者 役職名 上席執行役員 経理部長 氏名 寺田 剛尚 TEL (06) 6245 1113

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

（内容）

引当金の計上基準、法人税等の計上基準に一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（注）記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示している。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年 3 月期 第 3 四半期	128,041	-	14,326	-	14,572	-	5,060	-
16年 3 月期 第 3 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
（参考）16年 3 月期	145,815		10,326		10,631		3,925	

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17年 3 月期 第 3 四半期	29	42	-	-
16年 3 月期 第 3 四半期	-	-	-	-
（参考）16年 3 月期	21	66	-	-

（注）売上高、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。なお、当社では当連結会計年度より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率は記載していません。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年 3 月期 第 3 四半期	195,428	131,471	67.3	767	80
16年 3 月期 第 3 四半期	-	-	-	-	-
（参考）16年 3 月期	184,903	127,998	69.2	741	41

3. 平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	173,000	18,600	6,700

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期）38 円 95 銭

上記の予想は、発表時現在において入手可能な情報及び計画に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等によって予想数値と異なる場合があります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

わが国経済は、輸出と設備投資を中心とした景況感の改善を維持しつつも、円高、設備投資の一巡及び個人消費の停滞など、景気の先行きに翳りも一部見られる状況です。

このような状況のもとで、当期の課題である原材料価格の上昇に対応した販売価格の改定に取り組んでまいりましたが、当社及び台湾子会社とも鋼板関連事業においては、国内外の旺盛な鉄鋼需要を背景に需給が逼迫し、鋼材価格の値上げは概ね順調に進展しました。台湾子会社における輸出向け先についても、経済成長抑制の政策から数量・価格とも厳しさの見られる中国地域から、北米への転換が進み、輸出市場の中核となっており、売上高は順調に推移しました。

一方、利益面におきましては、四半期を追っての売上高の増加に応じて営業利益は積み上がり、各利益段階で前年同期実績を上回る利益水準となりました。台湾子会社は、同社の中間決算（平成 16 年 1 月～6 月）において、保証損失 6 億 50 百万台湾ドルの計上をおこなっており、その税効果を計算しておりました。しかしながら、その税効果に未確定の要素があり通期ではその計算を行わない見込みから、第 3 四半期決算では税効果の調整を行わず、その影響額は四半期純利益で 2 億 75 百万円の減益要因となりました。

以上の結果、第 3 四半期決算（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）としましては、連結売上高は 1,280 億 41 百万円、連結営業利益は 143 億 26 百万円、連結経常利益は 145 億 72 百万円、連結四半期純利益は 50 億 60 百万円となりました。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は、前連結会計年度末に比べ 105 億 25 百万円増加して、1,954 億 28 百万円となりました。販売単価の上昇により受取手形及び売掛金が 78 億 96 百万円増加したこと及び原材料高騰での生産コスト上昇による在庫評価アップによりたな卸資産が 40 億 28 百万円増加したことが主な要因です。また、株主資本は、支払配当等の利益処分により減少しましたが、当第 3 四半期までの純利益の計上により前連結会計年度末に比べ 34 億 72 百万円増加し、1,314 億 71 百万円となりました。この結果、株主資本比率は、前連結会計年度末の 69.2%から 67.3%になりました。

[業績予想に関する定性的情報等]

上述の台湾子会社における保証損失に対する繰延税金資産の計上の取り止めは、当社連結業績の通期での影響額としましては、為替換算の結果、当期純利益で約 2 億 74 百万円の減少となります。一方、原材料価格の上昇に対応した販売価格の改定は、総じて順調に推移しており、上記影響額もありますが、連結業績予想としましては、売上高、経常利益、当期純利益ともに中間決算発表時の連結業績予想を上回る業績を見込んでおります。

添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書など

以 上

【参 考】

平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（個別）

1．平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（個別）の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示している。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期（当期） 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年 3 月期 第 3 四半期	75,651	-	6,318	-	8,337	-	4,535	-
16年 3 月期 第 3 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 16年 3 月期	89,650		4,353		6,214		3,009	

	1 株当たり四半期 （当期）純 利 益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 （当期）純 利 益	
	円	銭	円	銭
17年 3 月期 第 3 四半期	25	75	-	-
16年 3 月期 第 3 四半期	-	-	-	-
(参考) 16年 3 月期	16	38	-	-

(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。
 なお、当社では当連結会計年度より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率は記載していません。

(2) 財政状態（個別）の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1 株 当 たり 株 主 資 本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年 3 月期 第 3 四半期	163,164	128,380	78.7	731 62
16年 3 月期 第 3 四半期	-	-	-	- -
(参考) 16年 3 月期	159,266	125,657	78.9	711 25

3．平成 17 年 3 月期の業績予想（平成 16 年 4 月 1 日 ～ 平成 17 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	102,000	10,200	4,600

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期）26 円 11 銭

上記の予想は、発表時現在において入手可能な情報及び計画に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等によって予想数値と異なる場合があります。

[添付資料]

1 .(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結第3四半期末 (平成16年12月31日)	前連結第3四半期末 (平成15年12月31日)	増 減	前連結会計年度末 (平成16年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)				
流動資産	[94,105]	-	-	[84,366]
現金及び預金	15,192	-	-	15,077
受取手形及び売掛金	43,471	-	-	35,574
たな卸資産	25,608	-	-	21,580
その他	9,831	-	-	12,135
固定資産	[101,323]	-	-	[100,536]
有形固定資産	66,814	-	-	69,240
無形固定資産	278	-	-	288
投資その他の資産	34,229	-	-	31,008
資産合計	195,428	-	-	184,903
(負債の部)				
流動負債	[35,375]	-	-	[29,582]
支払手形及び買掛金	16,776	-	-	14,674
短期借入金	6,725	-	-	5,828
その他	11,873	-	-	9,079
固定負債	[15,788]	-	-	[15,380]
退職給付引当金	7,220	-	-	7,145
その他	8,567	-	-	8,235
負債合計	51,163	-	-	44,963
(少数株主持分)				
少数株主持分	[12,794]	-	-	[11,941]
(資本の部)				
資本金	23,220	-	-	23,220
資本剰余金	23,221	-	-	23,610
利益剰余金	83,843	-	-	80,175
土地再評価差額金	871	-	-	874
その他有価証券評価差額金	7,649	-	-	7,135
為替換算調整勘定	2,662	-	-	3,081
自己株式	4,672	-	-	3,936
資本合計	131,471	-	-	127,998
負債、少数株主持分及び資本合計	195,428	-	-	184,903

2 . (要約) 四半期連結損益計算書

(単位 : 百万円、%)

科 目	当連結第 3 四半期 (16.4.1 ~ 16.12.31)	前連結第 3 四半期 (15.4.1 ~ 15.12.31)	増 減		前連結会計年度 (15.4.1 ~ 16.3.31)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高	128,041	-	-	-	145,815
売 上 原 価	101,480	-	-	-	119,777
売上総利益	26,561	-	-	-	26,038
販売費及び一般管理費	12,234	-	-	-	15,712
営業利益	14,326	-	-	-	10,326
営業外収益	791	-	-	-	1,082
営業外費用	545	-	-	-	777
経常利益	14,572	-	-	-	10,631
特別利益	123	-	-	-	104
特別損失	2,992	-	-	-	1,279
税金等調整前 四半期(当期)純利益	11,703	-	-	-	9,455
法人税等	4,720	-	-	-	3,261
少数株主利益(減算)	1,922	-	-	-	2,268
四半期(当期)純利益	5,060	-	-	-	3,925